

2024年度名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程総合法政専攻
研究者養成コース（外国人留学生）・応用法政コース（外国人留学生）入学試験

試験問題

1月22日(月) 9:30~11:30

法学又は政治学の基礎に関する論文

【問題についての注意】

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は、表紙を除き2頁である。試験開始の合図と同時に確認し、不足・乱丁のある場合は申し出ること。
3. 「問1（1枚）」「問2（1枚）」のうち、どちらか1問を選び、解答すること。2問とも解答しても、どちらか一方しか採点しない。
4. 問題冊子は、試験終了後持ち帰ること。

【解答用紙についての注意】

1. 解答用紙は5頁である。不足・乱丁のある場合は申し出ること。
2. 解答に取りかかる前に、全ての頁に受験番号を必ず記入すること。
3. 1頁目の「選択した問題番号」欄に選択した問題番号を明記すること。問題番号が明記されていない場合は、採点しないことがある。
4. 解答用紙は切り離さないこと。
5. 解答用紙は持ち帰ってはならない。

2024年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	法学又は政治学の基礎に関する論文
<p>問1 法学を選択する者は、以下の(1)~(5)のいずれかから1題を選択して解答しなさい。解答にあたっては、①選択した問題の番号を最初に明記すること。また、②現行の日本法を前提とすること。</p> <p>(1) 民法と消費者法との関係について論じなさい。</p> <p>(2) 民事裁判における証明責任について論じなさい。</p> <p>(3) 犯罪の成立要件としての因果関係について論じなさい。</p> <p>(4) 行政における比例原則について論じなさい。</p> <p>(5) 法における情報の公共財的性格について論じなさい。</p>	

2024年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	法学又は政治学の基礎に関する論文
<p>問2 政治学の基礎に関する問題を選択する場合には、以下の5問のなかから<u>2問</u>を選び、解答しなさい。解答する問題の番号を明記すること。</p> <p>(1) 政治学における「権力 (power)」とは何か。論ぜよ。</p> <p>(2) 政治における倫理の役割について、功利主義を批判する立場から論ぜよ。</p> <p>(3) 大統領制と議院内閣制の違いについて、それぞれについて2つの国家を例にとり(すなわち合計4つの国家を扱う)、具体的に説明せよ。</p> <p>(4) 地方分権の利点と欠点について論ぜよ。その際に、任意の地方自治体を1つ選び(対象とする国や地域も自由)、その自治体に関する具体的事例を扱うこと。</p> <p>(5) 国際連合(国連)の成立過程について説明したうえで、21世紀における国連改革の試みについて論ぜよ。</p>	